

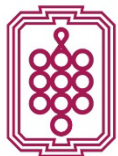
2023年度実施 卒業生アンケート結果

実施期間 : 2024年2月1日～2月29日

対象者 : 2019年度入学者(2023年3月卒業) 99名
※2023年度より対象者を卒業後1年とした。

実施方法 : GoogleformによるWebアンケート

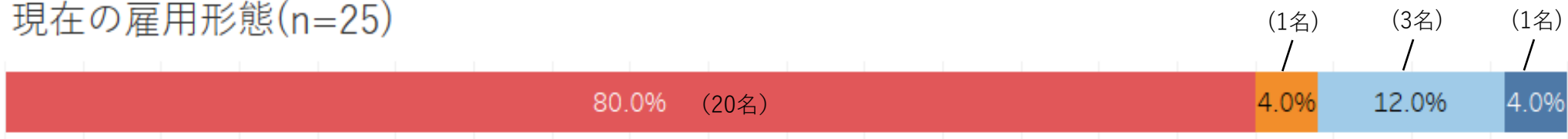
回答率 : 25名／99名 **22.2%**



福岡女学院看護大学

FUKUOKA JO GAKUIN NURSING UNIVERSITY

現在の雇用形態(n=25)



- 2.現在の雇用形態
- 正規職員(フルタイム)
 - 正規職員(産休・育児休業)
 - 非正規職員
 - 学生

現在の主たる職種



- 3.現在の主たる職種
- 看護師
 - 保健師
 - 大学院

現在の主たる勤務施設



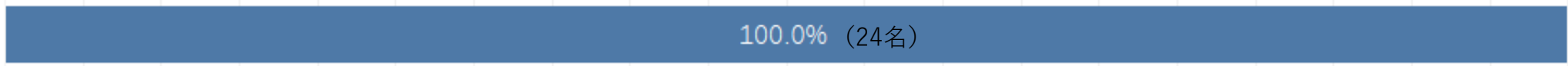
- 4.現在の主たる勤務施設
- 病院(500床以上)
 - 病院(100-499床)
 - 自治体職員

現在の勤務施設の所在地



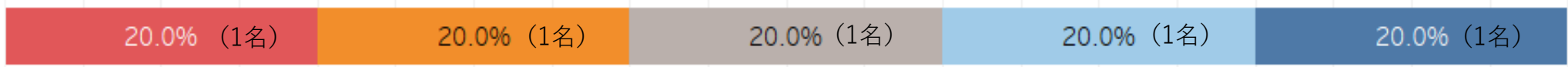
- 5.現在の勤務施設の所在地
- 福岡県
 - 近畿
 - 関東

現在の職位



- 6.現在の職位
- スタッフ

職場での役割 (n=5)



- 7.職場での役割
- スタッフ
 - プリセプティー
 - 平社員
 - 新人
 - ない

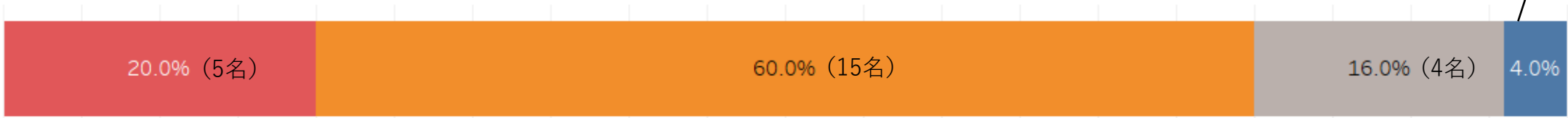
第1部 単年度集計

【II. ディプロマポリシーの検証】 n=25人

本学では卒業時に身につけてほしい能力をディプロマポリシー（卒業時要件）として以下の項目を掲げています。これらの内容は、現在の仕事や自分自身にどの程度大切であると感じていますか。

■ 5.非常に大切である ■ 4.大切である ■ 3.どちらともいえない ■ 2.大切ではない ■ 1.全く大切ではない

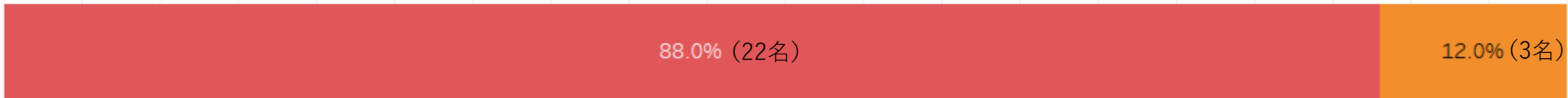
DP1-1 キリスト教精神に基づいた看護職者としての基本姿勢



DP1-2 人々にあたたかく接する態度や習慣



DP2-1 幅広いコミュニケーション能力と対人関係能力



DP2-2 ヒューマンケアリングの意味を理解し、他者とともに自分も成長する姿勢



【II. ディプロマポリシーの検証】 n=25人

DP3-1 医療にかかわる者としての倫理観

■ 5.非常に大切である ■ 4.大切である ■ 3.どちらともいえない ■ 2.大切ではない ■ 1.全く大切ではない



DP3-2 多様な価値観を理解し、他者の権利擁護に務める姿勢



DP4-1 看護学の専門知識・技術



DP4-2 専門的な問題解決能力



DP4-3 看護実践に必要な基礎的能力



【II. ディプロマポリシーの検証】 n=25人

■ 5.非常に大切である ■ 4.大切である ■ 3.どちらともいえない ■ 2.大切ではない ■ 1.全く大切ではない

DP5-1 リーダーシップ・メンバーシップの発揮



DP5-2 医療にかかわる者としての責任感



DP6-1 物事を科学的に探究する方法



DP6-2 不断なく努力する方法



【Ⅲ. 教育課程の検証（共通）】 n=25人

大学時代の教育が現在の仕事や自分自身にどの程度役に立っていると感じていますか。

5.非常に役に立っ.. 4.役に立っている 3.どちらともいえない 2.役に立っていない 1.全く役に立っていない

基礎分野（キリスト教関連科目・一般教養科目・情報処理科目・言語科目）



専門基礎分野（人体の構造や機能・病態疾病論・保健統計学・臨床心理学など）



専門分野（看護に関する科目全般）



統合分野（卒業研究・総合看護学実習・ヒューマンケアリングなど）

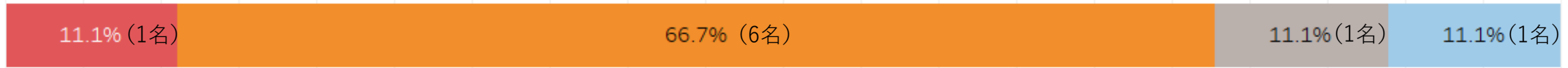


【Ⅲ. 教育課程の検証（保健師）】 n=9人

大学時代に受けた保健師教育が現在の仕事や自分自身にどの程度役に立っていますか。

地域の健康課題の明確化と、解決・改善策の計画・立案

5.非常に役に立つ.. 4.役に立っている 3.どちらともいえない 2.役に立っていない 1.全く役に立って..



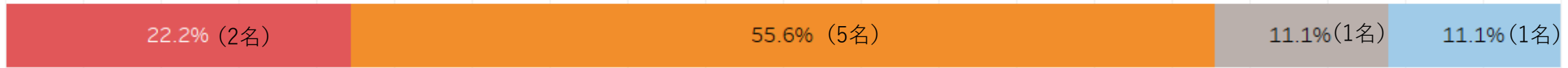
地域の健康増進能力を高める為の個人・家族・集団・組織に対する継続的支援



地域の人々・関係者・関係機関等との協働



地域の人々の健康を保証する為の平時・発生時・回復時における健康危機管理



地域の健康水準を高める為の事業化・施策化・社会資源の開発・システム化

